

果樹カメムシ類発生量調査

調査日平成18年 8月12日

調査地点：島根県出雲市芦渡町

概況：8月に入り気温（夜温）が上がったことから、カメムシ類の活動が活発となり、チャバネアオカメムシフェロモントラップ及び予察灯での誘殺数が増加しています。また、本年は予察灯において7月6半旬から8月2半旬にかけてクサギカメムシが440頭（平年150.5頭）と平年に比べ多く誘殺されています。被害果は8月6日の巡回調査において被害果率が1.2%（平年1.4%、7月26日0.4%）と平年並とまで増加しました。

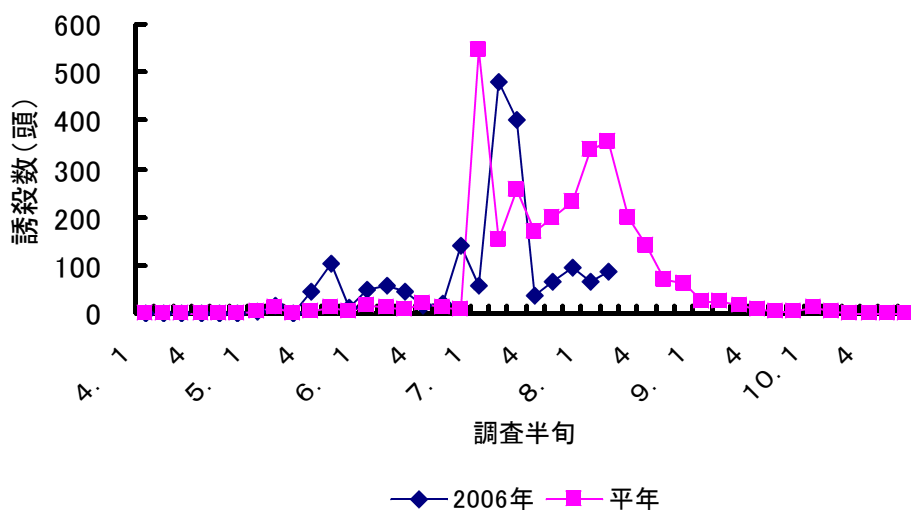


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

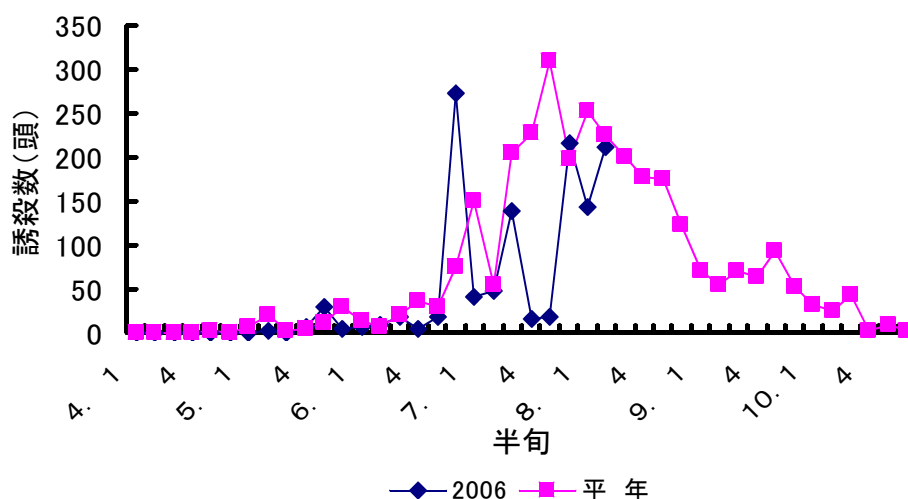


図2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

参考：フェロモントラップによるカメムシ調査はチャバネアオカメムシのみをフェロモンによって誘引し誘殺数を数える調査です。

予察灯による調査は水銀灯に集まるカメムシ（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）を数える調査です。

次回更新8月18日予定